

先週のマーケット動向(11月14日~11月18日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,316.0	1,346.3	1,308.5	1,340.3	+21.9
JPY/KRW	9.4276	9.6278	9.3865	9.5811	+0.266
KOSPI	2,485.18	2,499.43	2,442.87	2,444.48	▲38.68

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は反発。11月第2週には歴史的なドル/ウォンの下落があったものの、週明け14日には市場も冷静さを取り戻し、ドル/ウォンは1,316.0にてスタート。週初はG20における米中首脳会談への期待感から中国株が上昇し、ドル/ウォンも上値が重くなる場面も見られたものの、水準感からのドル買いニーズは強く、結局は上昇。15日には10月米PPIが弱い結果となり米金利が低下したものの、16日にはポーランドでのミサイル落下を受けて地政学リスクが意識され、ドル/ウォンは1,332.1まで高値を更新。さらに17日海外時間には複数のFED高官から市場が期待する早期の利上げ停止に対してけん制発言が相次ぎ米金利が反発し、市場は再びドル買いモードに。先週末対比21.9ウォン上昇した1,340.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想。米CPIをきっかけとした米利上げ速度緩和期待は根強くあるものの、ドルロングポジションの解消も相応に進んでおり、ショック的なドル売りは入りにくくなりつつある。複数のFED高官からは米利上げ停止に対し懐疑的な意見が出てきており、これ以上の米金利低下は一方向的ではなかろうか。また、24日BOK会合での大幅利上げの期待は薄く、ウォン買い材料には力不足な印象だ。かかる状況下今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	9.35 ~ 9.60	139.5 ~ 141.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(水) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 欧 11月 製造業PMI 速報値
- 米 10月 耐久財受注 速報値
- 米 11月 サービス業PMI 速報値
- 欧 11月 サービス業PMI 速報値
- 米 10月 新築住宅販売件数 確定値
- 欧 11月 消費者信頼感指数 速報値
- 米 11月 製造業PMI 速報値
- 米 FOMC議事録
- 24日(木) 韓 BOK 政策金利発表
- 25日(金) 日 11月 東京都区内CPI